

CABLINE®-SS Connector

Part No. Plug: 20380-***T-** Receptacle: 20374-***E-**-*

Instruction Manual

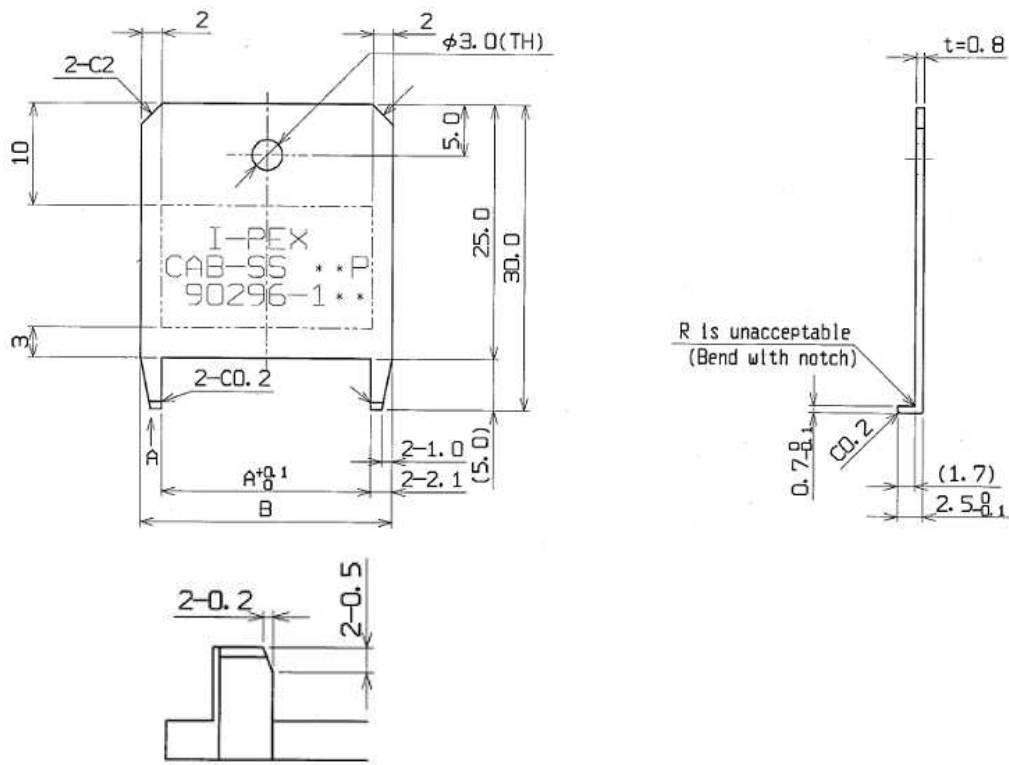
5	S22547	December 21, 2022	K. Hara	T. Tanigawa	H. Ikari
4	S18114	February 14, 2018	R.Hoshino	S.Kawamura	M.Takemoto
3	S16121	March 1, 2016	H.T		K.N
2	S15602	December 10, 2015	KNF		Tom
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社、CABLINE-SS Connector の取り扱いに際して、本コネクタを安全に御使用頂くことを目的としコネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

【抜去 JIG について】

抜去を行う際、ケーブルコネクタ首部へのストレスを避ける為、下図形状の様な JIG(Fig.1)を御使用下さい。ケーブル側コネクタには JIG 専用の引っ掛け形状が設置されています。

極数	A	B
10P	8.8	13.0
14P	10.4	14.6
20P	12.8	17.0
30P	16.8	21.0
32P	17.6	21.8
35P	18.8	23.0
40P	20.8	25.0
50P	24.8	29.0



(×4) Fig.1 推奨 抜去 JIG

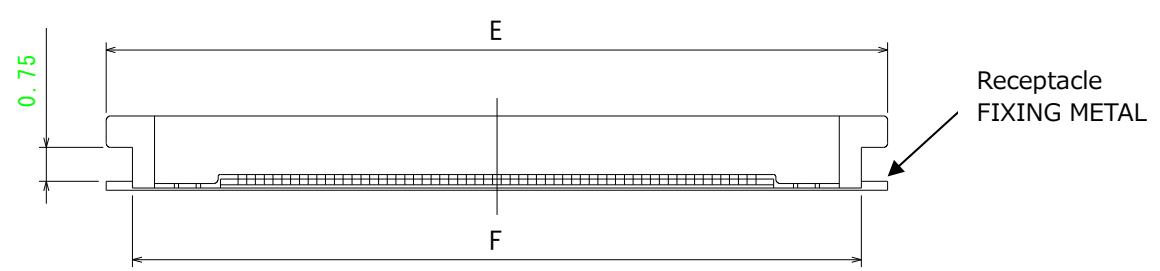
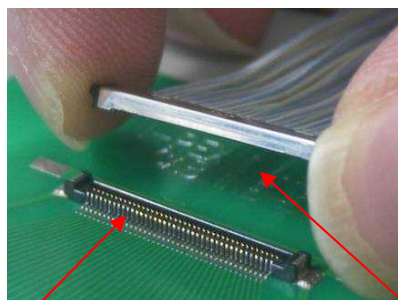


Fig.2 抜去 JIG 引っ掛け形状配置図

【コネクタ挿入手順】

1. ケーブル側コネクタの保持方法

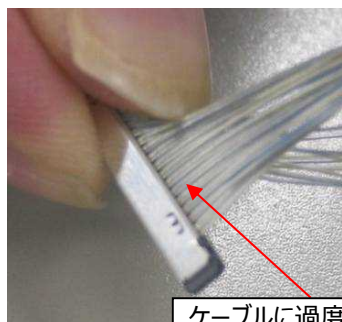
図 3 のようにケーブル側コネクタの両端を持ちます。(図 4 のように持つと、ケーブルに過度の力が加わる為、持たないようにお願いします。)



基板側コネクタ

ケーブル側コネクタ

Fig.3

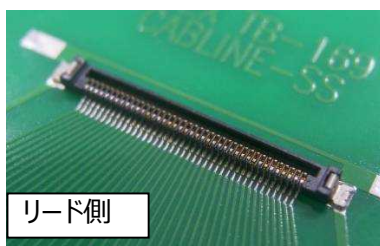


ケーブルに過度の力が加わる為、NG

Fig.4

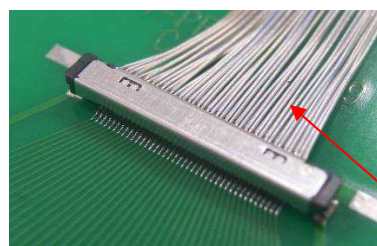
2. ケーブル側コネクタのセット方法

図 6 のように、基板側コネクタの反リード側にケーブル側コネクタのケーブルがくるように、セットします。



リード側

Fig.5



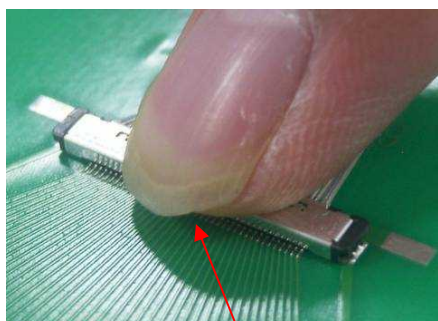
ケーブル

Fig.6 セット方法

3. 嵌合方法

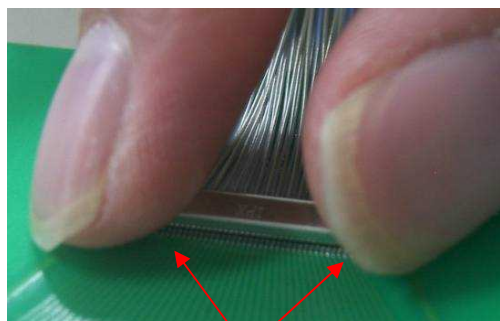
図 7 のように、ケーブル側コネクタのセンターを真上から押し、カチッという音がすると、嵌合完了となります。

図 8 のように両側を押し、片側嵌合となっていない事を確認してください。



センターを押し

Fig.7



最後に両側を押し、傾きなき事を確認

Fig.8

注意事項

- ・ケーブル側コネクタの押し込みにより基板の変形が生じないように、基板の下には受けを設けてください。
- ・コネクタ嵌合時、挿入許容角度は下図の通りです。コネクタをセットしたときに許容角度を超えた状態でケーブル側コネクタを強く押し込まないでください。

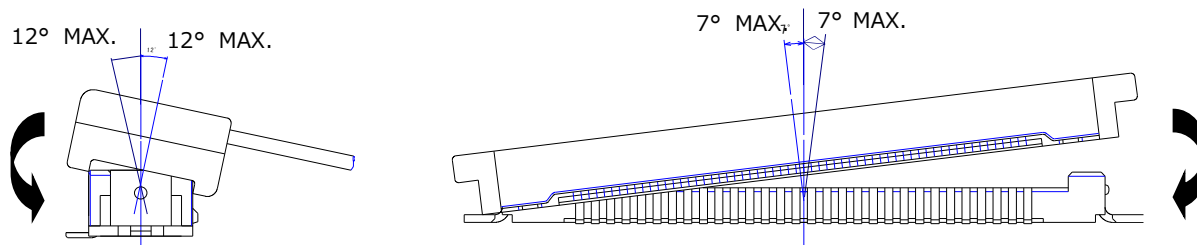


Fig.9 片側が先に嵌合した状態 (挿入許容角度)

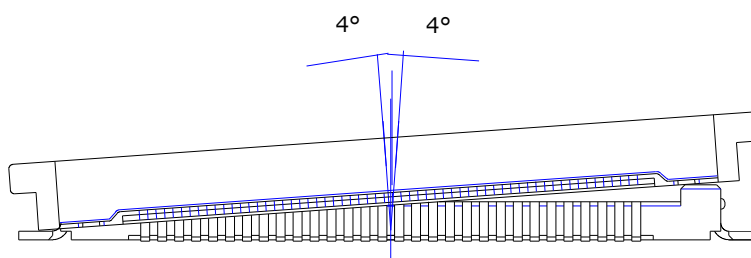
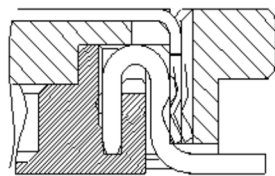
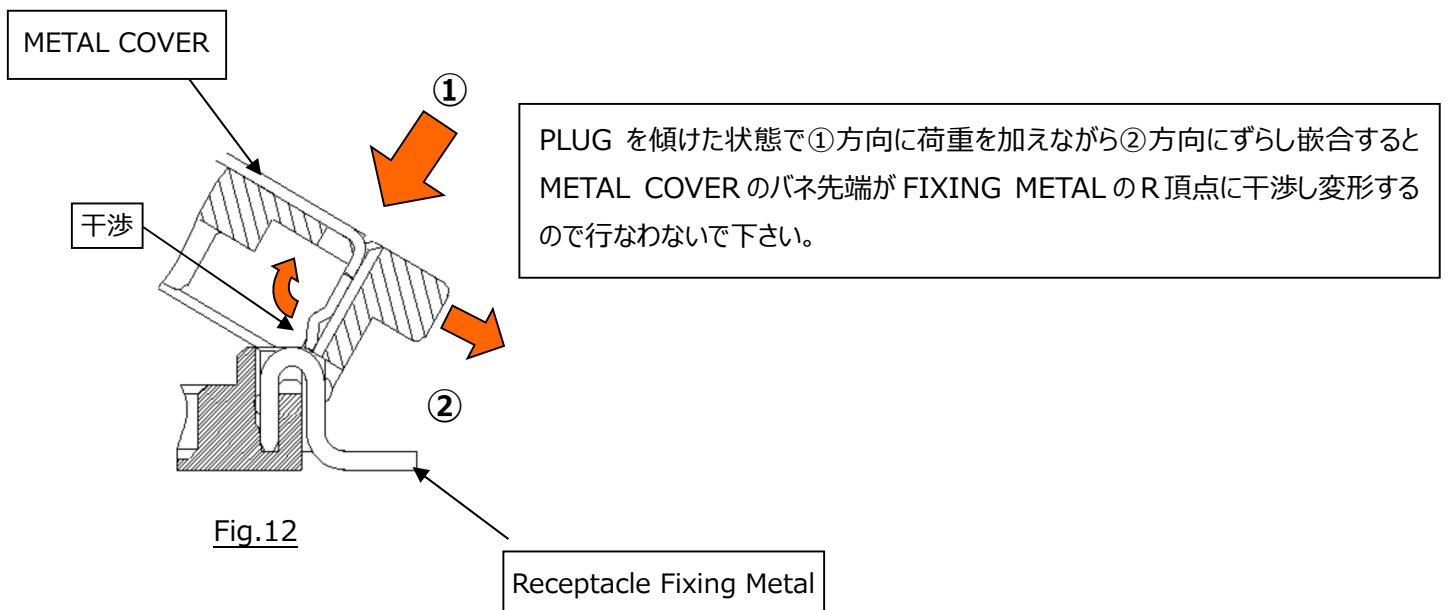


Fig.10 片側が先に嵌合した状態



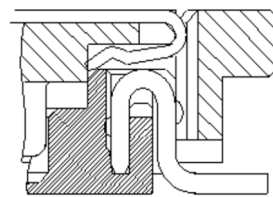
Fig.11 嵌合完了状態

注意事項



正常嵌合状態

Fig.13



嵌合異常

Fig.14

* 座屈したバネにより嵌合が浅くなりロックが掛からない

【コネクタ拔去手順】

- ① ケーブルの反対側から治具を基板と平行にスライドさせてコネクタへセットします。
- ② ストッパーに当たるまで治具をスライドさせプラグコネクタ全体を抱えるようにします。
- ③ 基板と垂直に治具を引き上げコネクタを抜去します。

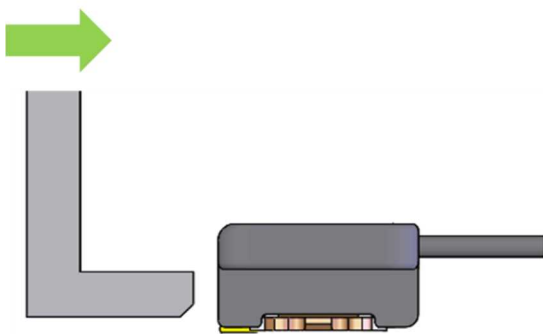


Fig.15-a

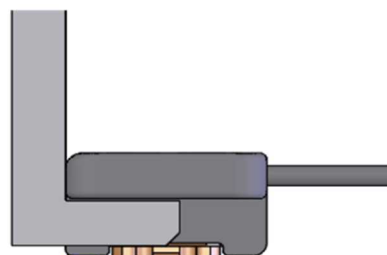


Fig.15-b

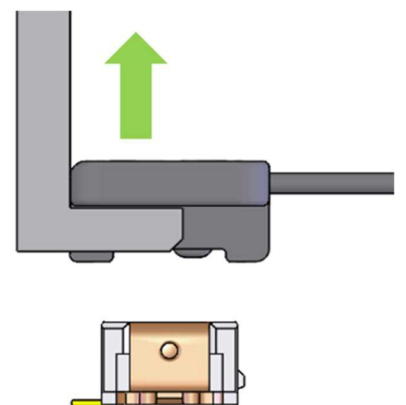


Fig.15-c

注意事項

- ・ケーブルを引っ張りコネクタの抜去を行わないでください。
- ・治具は基板と垂直に引き上げる事を推奨いたしますが、片側（ケーブルピッチ方向）を先に抜去する場合はコネクタ上面に荷重が加わらないようにしてください。
- ・コネクタ嵌合状態でのこじり許容角度（ケーブル引き出し方向の傾き）は図 16 の通りです。治具を引き上げる 許容角度は挿入許容角度と同等です。
- ・手で抜去する場合は、治具と同様に両端の引っ掛け形状を基板と垂直に引き上げて下さい。

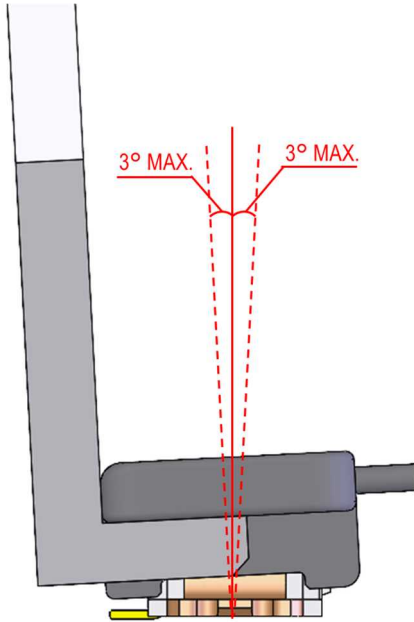


Fig.16 嵌合状態でのこじり許容角度

片側（ケーブルピッチ方向）を先に抜去する場合はコネクタ上面に荷重が加わらないようにして下さい。

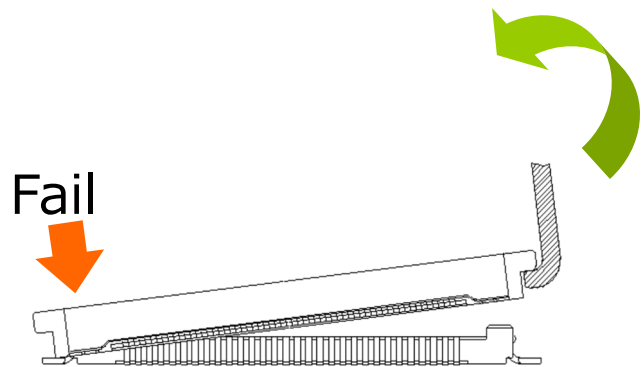
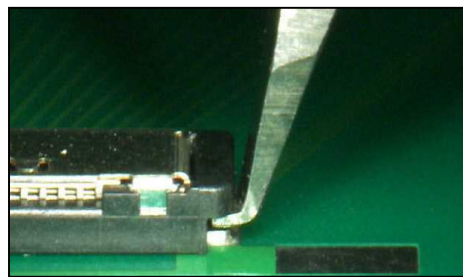


Fig.17 片側抜去の場合の注意



片側抜去治具先端形状(参考)



片側抜去治具使用状態(参考)

【コネクタ取り扱いの注意】

- ・ケーブルコネクタの取り回しの際には特定のケーブルに引っ張り力が集中しないように配慮ください。
- ・コネクタのケーブル取り付け部に引っ張り力及び繰り返し変位が加わらないように配慮ください。

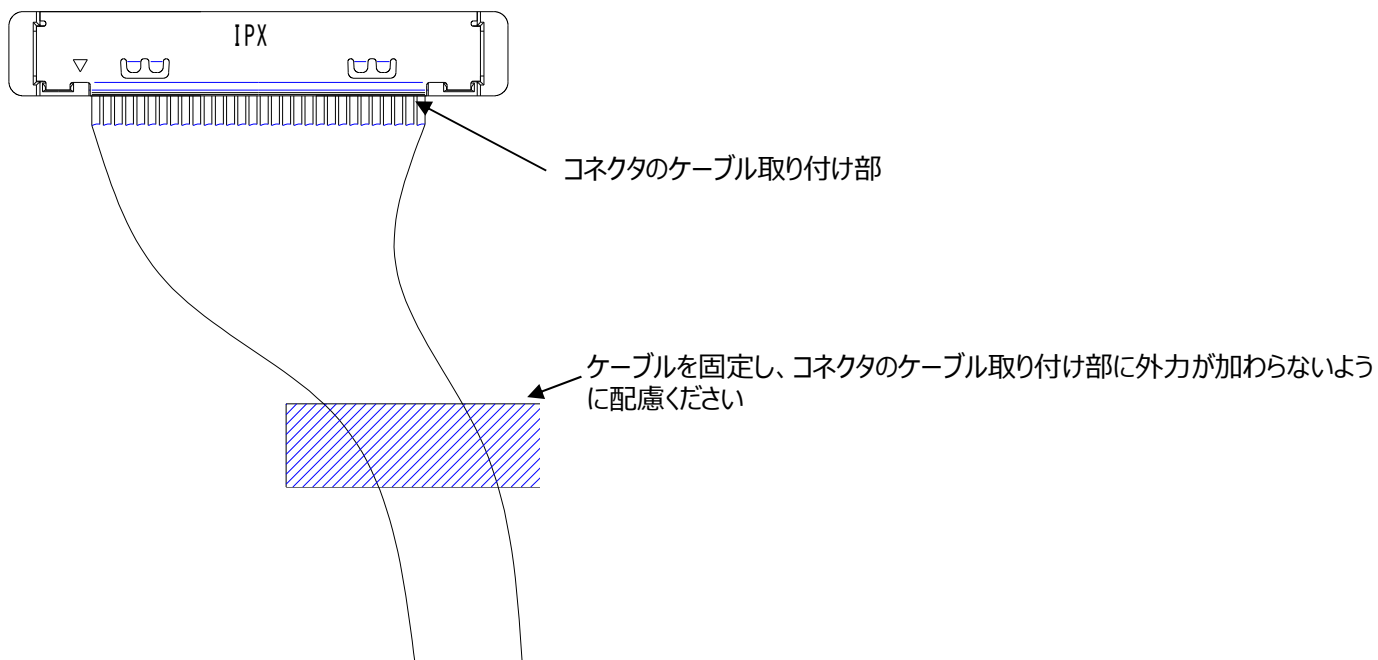


Fig.18

図 19 のように、矢印方向に常に力が加わるようなケーブルの引き回しを行うと、嵌合外れやコネクタの破損等の恐れがありますので、ご注意願います。

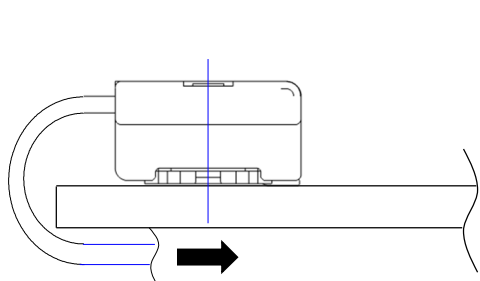


Fig.19-1

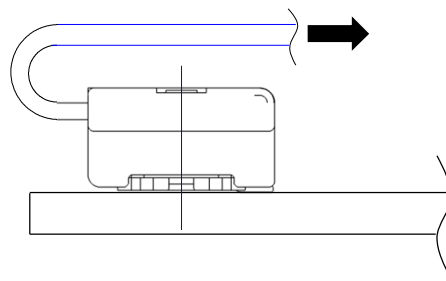


Fig.19-2

・嵌合状態のコネクタ抜け止め荷重（筐体で押さえる荷重）につきましては、下記条件でコネクタ上面全体を押えるようにしてください。

極数	荷重 (gf)	上面の面積 (mm ²)
10P	100gf MAX.	29.4 mm ²
14P	140gf MAX.	34.2 mm ²
20P	200gf MAX.	41.4 mm ²
30P	300gf MAX.	53.4 mm ²
32P	320gf MAX.	55.8 mm ²
35P	350gf MAX.	59.4 mm ²
40P	400gf MAX.	65.4 mm ²
50P	500gf MAX.	77.4 mm ²

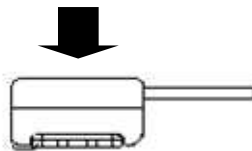


Fig.20 実装状態での筐体押さえ荷重

【吸着キャップ取り外し手順】

1. 吸着キャップの取り外しに於いて、ロック部が吸着キャップの端にある為、コネクタの反リード側或いは両端を図 21 の様に引き上げてください。指定方向以外からの取り外しでは、図 22 の様にハウジングに損傷が生じる為、絶対に指定方向のみに取り外してください。

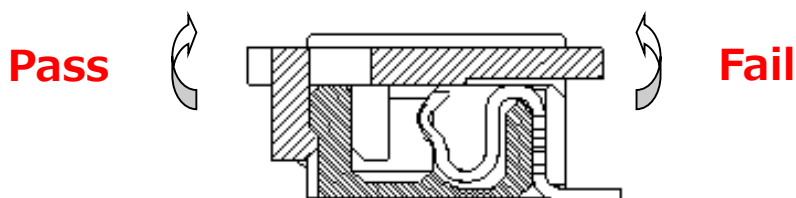


Fig.21

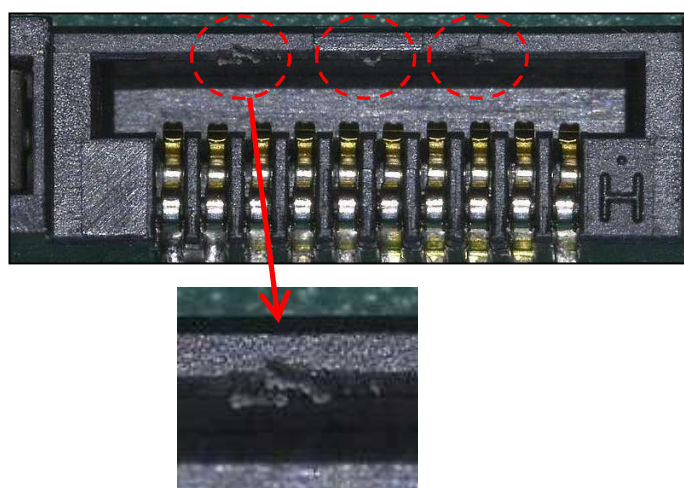
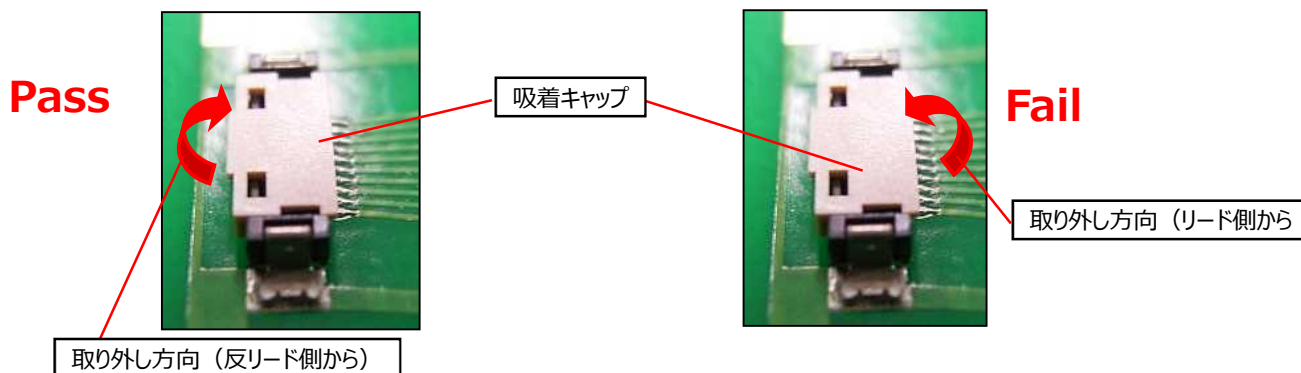


Fig.22